

聞十方

第
10
号

教区教化テーマ

創造と回復

温もりのある

お寺をともに！

教区慶讃事業から本山慶讃法要までの流れ

聞
法
伝
道
塾

2022年
1/22～

讃
仰
講
演
会

2022年
5/21

同
朋
の
集
い

2022年
10/19

教
区
お
待
ち
受
け
大
会

2023年
3/10

本
山
慶
讃
法
要

2023年
3/25～

いよいよ明年(2023年)3月25日から真宗本廟において「宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要」をお勤めします。

宗門では、慶讃事業の基本姿勢として

- ・宗門の基盤づくり-新たな教化体制の構築-
- ・本願念仏に生きる「人の誕生」と「場の創造」
- ・あらゆる人びとに向けた「真宗の教え」の発信

の三点を掲げ、慶讃事業を推進するとともに、教区団体参拝の申込受付を開始しております。

また、教区においても明年3月10日のお待ち受け大会をはじめ各種記念事業を進めてまいります。

今号の『聞十方』では、慶讃法要に向けた取り組みなどを掲載します。

このたびの慶讃法要を機縁として宗祖の御誕生と立教開宗の意義を確かめ、慶讃テーマ「南無阿弥陀仏 人と生まれたことの意味をたずねていこう」を手がかりとして、今を生きる私が「人として生まれた」ことの意味をご一緒にお念仏に尋ねてまいりたいと存じます。

山陽教務所長 椰野 大輔

聞 法 伝 道 塾

研修内容



- ・話し方講座
- ・教区重点課題
(非核非戦、阪神・淡路大震災
ハンセン病問題)
- ・荘厳と儀式
- ・真宗同朋会運動の歴史と願い

基本スケジュール

1日目

13:00	開 会 オリエンテーション
14:00	
15:00	聖教学習 攻究・座談
16:00	
17:00	夕事勤行・感話
18:00	夕 食
19:00	
20:00	座 談
21:00	終 了

2日目

7:00	朝食
8:00	晨朝勤行・感話
9:00	
10:00	課題別講義 攻究・座談
11:00	
12:00	閉会

研 修 期 間

- | | | |
|-----------------|-------------|--------------|
| ①2022年1月22日～23日 | ② 2月26日 | ③ 4月9日～10日 |
| ④ 6月18日～19日 | ⑤ 9月10日～11日 | ⑥ 10月15日～16日 |
| ⑦2023年1月21日～22日 | ⑧ 2月10日～12日 | ※いずれも土日開催 |

2022年11月16日～18日 姫路船場別院報恩講出仕
2022年12月7日～8日 広島別院報恩講出仕

2023年5月か6月に真宗本廟奉仕を予定

※①②④⑤⑦⑧は姫路会場 ③⑥は広島会場

日程等変更する可能性があります

主幹からの一言

コロナ問題で足踏みをしていた「聞法伝道塾」がようやく対面で行われました。

開塾にあたっての姿勢は、本来切り離すことのできない「教えを聞く」と「教えを伝える」ことを、講義・座談・実習を通して同時に考えながら進めていくことであります。さらに社会で生きる自らの生活の課題と無縁というわけにはまいりません。

「塾」では、『教行信証』の「総序」「別序」「後序」を中心に宗祖の教えを学びます。講義を担当する者が不案内なのが難点ですが、そのことがかえって塾生諸氏と共に勉強できることになるのではないかと、密かに期待していることです。

最初の講義で、「自らの一一挙手一投足が親鸞の肯きを得たか」という言葉を紹介しました。何十年も前に聞いた言葉ですが、そういう確かめをしながら、また自明のこととしていたことを学び直すことができる契機となることを願っております。

聞法伝道塾主幹 寺川大雅

受講者たちの声

初めて一人で初七日に行った時、あまりの空気の重さに終始変な汗をかいた事、全く何も話せなかった事を今でも鮮明に覚えている。

葬儀や法事、お寺での法要等法話を求められる機会は多い。が、学校を卒業すると、改めて法話について学ぶ機会は殆どなく、各々の学びに委ねられている部分が多いように感じる。感想を聞ける訳でもないので、合っているかどうか分からない。

例えば法事後、お斎の席などで

(門徒さん)「今日はいいお話を…」

(私)「どんな所が…」

(門徒さん)「いや、まあ…」

せいぜいこんな感じだ。

自分の言葉で話したいけれど、今自分がしている話が法話になっているのだろうか。そんな悶々としたものを抱えながら私達は今日も現場に行き、目の前にいる一人一人と向き合う。衣を着ている者の責任は重大だ。そんな時に今回の聞法伝道塾の話聞いた。一年位では何も変わらないかもしれないけれど、先輩方や共に集う仲間達から、法話に向き合う姿勢を学び、真似していければと思う。そんな歩み続ける熱量が、これまでの私達に伝わってきて、これからに伝わっていくのだと思う。

お寺や仏教にご縁のなかった私が真宗の教えと出遇い、真宗学院で仏法を学び出したのは40歳を過ぎてからでした。社会の中でどう生き残るか、どれだけ役に立つかということに腐心して生きていた私の耳が開き、共に生きる真宗の教えによりやく喜びを感じられるようになったのは学び始めてから一年を過ぎた頃でした。今、僧侶として自分がご法話をする立場になり、私は聞いてくださる皆さんのことをわかっているのか、身勝手に独りよがりなお伝えにはなっていないかと、聞くことが出来なかった日の自分自身のことをよく思い出します。知識・経験ともに浅い私ですが、「聞法伝道塾」でご指導の先生方や様々な思いで集われている同期の皆さんに学ばせていただき、しっかりと教えに立ち、独りよがりにならず、喜びを持ってお話をしていけるような聞法者を目指して取り組みたいと思います。一塾生としてこの塾が開かれる願いを受け止めていかねばと感じております。



南無阿弥陀仏

人と生まれたことの意味をたずねていこう

山陽教区宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年お待ち受け大会
姫路船場別院 本徳寺
本徳寺創立五百年・船場本徳寺成立四百年・本堂建立三百年法要

山陽教区

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年
慶讃法要お待ち受け記念

親鸞聖人讃仰講演会

講題

親鸞からの 風に吹かれて

講師

酒井義一師

(東京教区存明寺住職)

2022(令和4)年

5月21日(土)

開場 PM12:00 開会 PM1:30

聴講券：500円

本会場

姫路船場別院

本徳寺

姫路市地内町1番地
JR姫路駅→神姫バス「花影町」徒歩3分

リテライト会場

教本寺

津山市大谷435

最善寺

福山市寺町8-5

広島別院明信院

広島市中区空町4-5

※新型コロナウイルス感染症の感染状況により、開催形態の変更もしくは中止となる可能性があります。

※お問い合わせ→山陽教務所(姫路市地内町1 / 079-292-3690)

主催

真宗大谷派山陽教区

<http://www.sanyo-kyoku.jp>



12:00 受付

13:30 開会式

- ・総礼
- ・真宗宗歌
- ・勤行(正信偈 同朋奉賛)
- ・挨拶
- ・仏教讃歌 コールサンガ

14:20 講演

- ・講題『親鸞からの風に吹かれて』
- ・講師 酒井義一師 (東京教区存明寺住職)

16:00 閉会式

- ・挨拶
- ・恩徳讃

※ 事前申し込みの必要あり

山陽教区 宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年 慶讃法要お待ち受け記念 親鸞聖人讃仰講演会

—親鸞からの風に吹かれて—



さか い よし かず
講師 酒井義一 師

私は、闇を抱えながら今を生きています。しかも、自分ではそのことに気づくことさえできません。そして、時に苦悩を抱くこともあります。

そのような私に、親鸞から届けられていることがあります。それは、私を目覚めさせ、私を呼び戻す「風」です。

風は、色もなく形もありませんが、肌で感じ取ることができます。

さあ、風に吹かれてみましょう。私を呼び戻す、親鸞からの風に……。

プロフィール

1959年、東京都生まれ。真宗大谷派存明寺住職。

同朋会館教導、ハンセン病問題に関する懇談会委員、青少幼年センタースタッフ。

自坊では、樹心の会、グリーンケアのつどい、青年のつどい、こども会、こども食堂などを主宰。

宗務審議会「慶讃法要基本計画に関する委員会」元委員。

著書

「人間回復への道—ハンセン病と真宗—」「子どもと読みたいほとけさまのおはなし」(東本願寺出版)など。



讃仰講演会開催にあたって

同朋会運動の高まりとともに1966年5月に始まった「山陽教区 親鸞聖人讃仰講演会」は姫路船場別院本徳寺を主会場として2019年まで53回開催されました。この講演会は、時代社会の課題を宗祖の教えに聞き開く聴聞の場として、教区内の僧俗が共に作り上げてきました。今こそ聞くべき教えを聞いてきました。

しかし先般の教区教化事業精査により、教区主催での実施は難しいと一旦とどまり、今後の方向を検討しておりましたが、この度、慶讃事業として従来の讃仰講演会の形式で「慶讃法要お待ち受け記念 宗祖親鸞聖人讃仰講演会」として本会場を船場御坊、サテライト会場を津山 教本寺さま・福山 最善寺さま・広島別院にて開催することとなりました。讃仰講演会については、今後も続けて開催して欲しいとの声も多方面からお聞きし、未だ今後の課題となっております。

この度の慶讃法要、また姫路船場別院本徳寺ご修復を機縁に継続の方向を模索してまいります。

教化委員会本部長 日野雅範

過去開催一覧

回	開催日	講師	講題
第1回	1966年5月15日 於 姫路船場別院	訓覇 信雄 平沢 興 梁 雅子	真宗教団のねがい 生かされる喜び 愛する
第2回	1967年5月21日 於 公会堂	司馬 遼太郎 広瀬 杲	人生の地図 「親鸞一人」の世界
第3回	1968年5月26日 於 公会堂	西元 宗助 蓬茨 祖運	親鸞聖人と現代 他力本願
第4回	1969年5月11日 於 公会堂	仁戸田 六三郎 金子 大栄	現代人と仏教 世界観としての真宗
第5回	1970年5月17日 於 公会堂	舟橋 一哉 梅原 猛	生きる力としての仏教 親鸞の世界
第6回	1971年5月30日 於 公会堂	稲葉 秀賢 真継 伸彦	人間性回復の道 釈尊と親鸞
第7回	1972年4月23日 於 公会堂	仲野 良俊 松林 宗恵	願いと力 唯の世界
第8回	1973年5月13日 於 公会堂	大西 憲明 井上 信一	人間関係をなめらかにするもの 私のお念仏
第9回	1974年5月19日 於 文化センター小ホール	桜部 建 菊村 紀彦	お経を読むこと 宮商和して交響す
以下第48回を除き 於 姫路船場別院			
第10回	1975年4月12日	鈴木 健二	暮らしのこころ
第11回	1976年6月5日	高光 一也	帰命の生活
第12回	1977年5月不詳	高 史明	
第13回	1978年5月不詳	古田 武彦	親鸞聖人生涯の願い
第14回	1979年6月2日	野間 宏	
第15回	1980年6月14日	三國 連太郎	なぜいま親鸞なのか
第16回	1981年4月18日	寺川 俊昭	親鸞・蓮如・満之 世の中安穩なれ、仏法弘まれ
第17回	1982年5月8日	松永 伍一	いま人間として
第18回	1983年5月29日	小田 実	世界の中の日本の私
第19回	1984年4月21日	高松 信英	道
第20回	1985年5月25日	高 史明	いのちを見つめて 親鸞聖人に学ぶ
第21回	1986年5月17日	灰谷 健次郎	いのちこの優しきもの
第22回	1987年5月16日	岡部 伊都子	微笑へつづく道
第23回	1988年5月21日	二葉 憲香	本願の信
第24回	1989年5月20日	高光かちよ	ほんとうのしあわせ
第25回	1990年5月19日	竹下 哲	いのちに目覚める
第26回	1991年5月11日	広瀬 杲	人間に成る

回	開催日	講師	講題
第27回	1992年5月16日	ひろさちや	「ふるさと」浄土論
第28回	1993年5月22日	金光 寿郎	人間の不思議
第29回	1994年4月23日	中山 千夏	人権とお念仏
第30回	1995年5月20日	阿満 利麿	社会に開かれた宗教心
第31回	1996年5月18日 山陽教区蓮如上人五百回お待ち受け法要と合同開催	寺川 俊昭 太藤 順誼	「真宗よ おこれ」ともよ同朋よ 蓮如上人絵解き
第32回	1997年5月24日	小川 一乗	後生の一大事
第33回	1998年5月16日	竹中 智秀	親鸞聖人の願われた国家
第34回	1999年5月15日	新屋 英子	親鸞さんと蓮如さん
第35回	2000年5月20日	河村 とし子	み仏様との日暮を
第36回	2001年7月14日	池田 勇諦	先祖供養を問う
第37回	2002年5月18日	亀井 鑛	自己とは何ぞやー清沢満之の百年ー
第38回	2003年5月17日	寺川 俊昭	如来光明中の同朋
第39回	2004年5月15日	宮戸 道雄	家族の絆
第40回	2005年5月21日	宮城 顛	生と死
第41回	2006年5月20日	信楽 峻麿	先ずわが心を育てよう
第42回	2007年5月19日	蓑輪 秀邦	人間は何のために生きているのか
第43回	2008年4月6日 山陽教区宗祖750回御遠忌お待ち受け同朋大会と併催	小林 博聞	今、いのちがあなたを生きている ともに目覚めともに歩もう ー出遇い続けたい人そして言葉ー
第44回	2010年5月22日	中村 薫	出会い そして 別離のいのち
第45回	2011年9月17日 講師体調不良の為中止	高 史明	劫濁のときうつるには
第46回	2012年5月19日	高 史明	浄土の真宗と現代の危機
第47回	2013年5月18日	池田 勇諦	人間にとって真面目とは何か
第48回	2014年5月18日 於 姫路文化センター大ホール 2014年6月14日 於 広島国際会議場フェニックスホール 山陽教区宗祖750回御遠忌記念講演会と併催	高村 薫 姜 尚中	ひと、仏に出会う、己に出会う 〈共苦〉から〈共生〉の未来へ ー広島・水保・福島が問いかけるものー
第49回	2015年6月6日	浅野 玄誠	非常識のすすめ
第50回	2016年5月21日	海 法龍	「聖人の御意」ー共生という居場所ー
第51回	2017年5月20日	児玉 暁洋	破闇満願
第52回	2018年5月19日	藤田 ジャクリーン	出遇いが里帰りになる時
第53回	2019年5月18日	川村 妙慶	私が私であってよかったと思える生き方

同朋の集い

同朋の集い開催の願い

「山陽教区 女性同朋の集い」は各組・各寺院での女性会の結成、並びに女性会の更なる充実、また男女共同参画の発展に向けての歩みになることを願い、1989年開催の第1回大会より、各組・各ブロックを巡回して、2019年開催の第23回大会まで続けております。その後、教区教化事業精査により教区からの移譲先を検討中であります。

この度、慶讃事業として従来の「女性同朋の集い」の方式で「慶讃法要お待ち受け記念 同朋の集い」として開催することとなりました。当番はD・Eブロックで美作組・備中組・備後組の協力のもと、各組坊守会・女性会を中心にして、教区坊守会にも協力いただき、本会場を福山 神辺文化会館、サテライト会場として津山 教本寺さま・広島別院・船場御坊にて開催することとなりました。

実行委員会のなかで話し合われた結果、この集いは当初の願い通り、各組・各寺院の女性会結成、また充実であります。この度あえて「女性」の文言を外すこととしました。それはジェンダーが変化していく昨今の社会の動きの中で「女性」という冠が外れていくのは自然な事であると同時に、教団において圧倒的なマジョリティが「男性」である中で、マイノリティは「女性」だけではなかったという気づきに基づくものです。性差を超えた一人として聞法する姿に思いをいたし、貧富・貴賤・老若・男女・善悪を選ばれない「同朋」という精神に立ち返った「集い」を願いといたします。

この度の開催を機に、今後のブロック教化の可能性を検討してまいります。

教化委員会本部長 日野雅範

2022年
10月19日(水)
13:30~
会場 福山市神辺文化会館

同朋の集い
講師 讓西賢氏
(大垣教区慶圓寺住職)

過 去 開 催 一 覧

第1回大会	日時：1989年2月25日 会場：山陽教務所 講師：本多 恵 講題：いのちをたずねて	第2回大会	日時：1990年2月24日 会場：山陽教務所 講師：渡辺尚子 講題：いのちをたずねて
第3回大会	日時：1991年2月20日 会場：まきび会館（岡山） 講師：河村とし子 講題：ほんとうのしあわせ	第4回大会	日時：1992年2月24日 会場：相生市民会館 講師：寿岳章子 講題：人生のおのずからなる輝き
第5回大会	日時：1993年2月18日 会場：加古川市民会館 講師：池田勇諦 講題：正しい判断力	第6回大会	日時：1994年2月18日 会場：広島東区民文化センター 講師：田代俊孝 講題：自然のいのち -老、病、死の心のサポート-
第7回大会	日時：1996年5月1日 会場：姫路市市民会館大ホール 講師：高 史明 講題：黒闇のただ中に立つ -真実のいのちを問う-	第8回大会	日時：1997年1月22日 会場：神戸文化ホール 講師：福田雅子 講題：人間の輝き
第9回大会	日時：1998年6月24日 会場：広島県文化センターふくやま 講師：山崎朋子 講題：今を豊かに生きるために	第10回大会	日時：1999年3月4日 会場：ふれあい会館（損保郡新宮町） 講師：田代俊孝 講題：看取りの心と仏教 -自然法爾のいのち観-
第11回大会	日時：2000年3月13日 会場：姫路市市民会館 講師：池田勇諦 講題：何が家族の絆なのか	第12回大会	日時：2001年2月15日 会場：アステールプラザ（広島市） 講師：一楽 真 講題：末代濁世のわれら
第13回大会	日時：2002年4月20日 会場：岡山国際ホテル 講師：小川一乗 講題：念仏に生きる -いのちは平等-	第14回大会	日時：2003年3月3日 会場：赤穂市文化会館ハーモニーホール 講師：張 偉 講題：海をこえて響くお念仏
第15回大会	日時：2004年3月24日 会場：明石市立市民会館アワーズホール 講師：森津純子 講題：そのままの私でいいじゃない？	第16回大会	日時：2005年3月10日 会場：姫路市文化センター大ホール 講師：松村尚子 講題：子ども受難の時代相を問う
第17回大会	日時：2006年3月8日 会場：ふくやま「リーデンローズ」 講師：竹中智秀 講題：心に浄土を念持して生きよう	第18回大会	日時：2007年3月2日 会場：あすかホール大ホール 講師：岡百合子 講題：いま、私の願いを生きるということ
第19回大会	日時：2008年2月14日 会場：市川町文化センターひまわりホール 講師：園田久子 講題：「わたしにとっての『非僧非俗』」 ～人として、女としての解放～	第20回大会	日時：2009年3月16日 会場：アステールプラザ 講師：鎌仲ひとみ 講題：つながりのなかに活かされる 暮らしのありかた
第21回大会	日時：2012年4月18日 会場：高砂市文化会館（じょうとんぼホール） 講師：酒井義一 講題：人は皆 誰もが 求道者	第22回大会	日時：2016年2月18日 会場：姫路文化センター大ホール 講師：武田定光 講題：私から始まる〈真宗〉 -真宗創造論-
第23回大会	日時：2019年3月29日 会場：たつの市総合文化会館赤とんぼ文化ホール 講師：佐賀枝夏文 講題：大いなる「はたらき」に導かれて歩む道		

山陽教区宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年お待ち受け大会
姫路船場別院本徳寺
本徳寺創立五百年 船場本徳寺成立四百年 本堂建立三百年記念法要

2023年3月10日(金)

日程(予定)

午前

帰敬式(門首剃刀)

午後

お待ち受け大会・法要

各組団参を企画中

その他、詳細は儀式参拝小委員会にて協議する



高札立柱式の様子
(2022年4月11日)



宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃法要



午前日程

午後日程

9:40 集会 11:10 法話
10:00 勤行 11:40 日程終了

13:00 集会 14:30 法話
13:20 勤行 15:00 日程終了

山陽教区 慶讃法要 団体参拝日一覧

日	月	火	水	木	金	土
3/19	20	21	22	23	24	25 午後 4組・7組
26 午後 備後	27 午前 安芸南	28 午後 備中	29 午後 4組	30 午後 5組	31 午後 赤穂	4/1 午後
第 1 期 法 要						
2 午後 2組	3 午後	4 午後 3組	5 午後 赤穂・芸備 安芸北	6 午後 1組・3組	7 午後	8 午後 美作
9	10	11	12	13	14	15 午前
讃 仰 期 間						
16 午前 6組・備後	17 午前	18 午前 神戸	19 午前	20 午前 安芸南	21 午前	22 午前
第 2 期 法 要						
23 午前	24 午前	25 午前	26 午前	27 午前	28 午後	29 午後



南無阿弥陀仏

人と生まれたことの意味をたずねていこう



宗祖親鸞聖人御誕生 850年
立教開宗 800年
慶讃法要特設Webサイト用QRコード

広報・情報発信部門からのお知らせとお願い

教区ホームページをご覧ください
<http://sanyo-kyoku.jp>
Facebook @sanyokyoku
Twitter @sanyokyoku_koho
Fax 079-292-1747(山陽教務所)
E-mail sanyo@higashihonganji.or.jp

掲示板の法語募集中



- ・各種関係書類がダウンロードできます
- ・教区内での活動情報など、掲載ご希望の方はご連絡ください
- ・ご意見、ご感想、ご要望等、お聞かせください